

動機

① 動機

何年も前（おそらく7～8年前から）放課後等デイサービス利用児の保護者からムジカで働きたい。作業所を作って欲しい。との要望がありました。高校（高等部）に進学後は特にその声が聞こえていました。実際に利用児から直接要望されたこともあります。このような要望の声が今回就労支援の開所をしたと思った大きな動機でもあります。10年前放課後等デイサービスを開所した動機も保護者からの強い要望があったから始めることになったのです。今回の事業もそう言った要望の声を何年も前からなかなか応えられていませんでしたが今回開所への準備をはじめられたところです。

（音楽を支援プログラム導入するにあたって）

創業32年経ちます。

創業時

楽器店で学校の楽器の販売等をしていたが、専門職としての楽器修理を学校教育の中で活かしたいと1990年10月楽器工房ムジカを創業する。当時は学校の部活動で生徒たちが使用しているフルート、トランペット、ティンパニーなどの修理や販売、又困りごとのアドバイスをしていた。又、音楽教室も行っており子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方への音楽の提供をしていた。

音楽療法との出会い

創業後2～3年経過したあたりに音楽療法が音楽を楽しむだけでなく、音楽が治療になり生きる力になることを知り、大変衝撃を受け、そこから書籍や音楽療法連盟（現在の音楽療法学会）や他の音楽療法研究期間で学び、音楽の療法的な活用を学びながら、様々な病院、施設等で乳幼児から、成人、高齢者、ターミナルの方への音楽療法の実践を重ねてきた。

主な現場として、県立大学三原キャンパスクリニック、大田記念病院デイケア、福山市医師会デイケア（現在閉所）、老人保健施設かなえ、特別養護老人ホームむつみ苑、加藤内科なみき通りクリニック緩和ケア施設（現在閉所）、いちれつ会いこいの家、親の会ひよこクラブ、他

外部に出前音楽療法を続けていたが、その後更に音楽療法の効果的な支援の必要性と可能性を感じ、2002年介護保険の高齢者デイサービス、2012年放課後等デイサービス、

児童発達支援を開所し実践を重ねている。

音楽療法用楽器開発

様々な病院、施設で音楽療法を実践していたが、施設が持っている楽器が幼稚園でよく見かけるすずやカスタネットであった。音楽療法はその人の尊厳を守り、寄り添い、生きる希望に焦点を置くものですが、その活動を効果的に行える楽器が少ないことに悩んでいた。特に打楽器だけではなく、弦楽器の揺らいだ響きを感じることで多くの希望が望めると思い、誰でも簡単に楽しめる弦楽器の開発に取り組むようになった。取り組むにあたっては県立大学理学療法士の先生やドクター、県立東部工業技術センターで研究開発を続け「ウォルナットハープ」を完成した。その他にもいくつかの楽器を開発している。「ウォルナットハープ」は現在も高齢者の施設、放課後等デイサービスでも使っております。又、この楽器を欲しいとの問い合わせもあり、関東や関西の様々な場所で使われました。

音楽療法の効果、エピソード

小学校、中学校と不登校の利用児童への音楽療法を行っています。言葉では自分の気持ちを相手に伝えることが困難な特性があるが、音や楽器、音楽の持つ特性を使って音楽療法を行う中で、ノンバーバルなコミュニケーションの交流が盛んになっていきました。そして言語による発信、交流へと発展していく事例は多く見られます。中には今の自分の気持ちを言葉で伝え辛いこと、前に進めないと思っていること、楽しみにしていることなどを話すことで、自分の気持ちに整理しています。これは幼児期から学齢期の利用児どの年齢でも幅広く行っていますが、思春期から青年期に移行する高等部や高校生には有効でした。

又、音楽療法での音楽のあり方は正しく演奏するとか、上手く歌う等の評価ではなく、どのように自分を表現しようとしているのか、自分の考えがどこにあるのかなどを丁寧に観察し支援するプロセスを大切に行うため、広く色々な人に対応できる支援方法でもあります。

10年間の放課後等デイサービスで様々な方と関わり、社会に出た時のフォローに有効であると考えています。社会生活が上手くいかず仕事を継続することが難しかった経験のある方をB型作業所で働いていただくには、家から出ることや、仕事に挑戦する力を音楽療法等により支援することが、継続した就労につながると考えられます。

メンタルケアが必要の方に対し音楽療法や療法的音楽活動の支援、芸術活動の支援で明日への就労意欲、希望を持って頂きたいと考えます。

外部への活動経験

ムジカではステージでの表現活動として「ジムーカムジカ」のコンサートを行っています。

2017年11月11日 全国発達支援通園事業連絡協議会全国大会（福山アルシェ）

2018年3月3日 脳を見るシンポジウム市民公開講座（三原市リージョンプラザ）

2018年9月9日 あいサポートふれあいコンサート（神辺文化会館）

2018年12月8日 日本情動学会全国大会（広島大学）

2019年5月5日 キッズミュージックフェスティバル（アリストぬまくま）

2019年5月18日 ばら祭 2019 わくわくステージ（中央公園）

2019年9月26日 中国ブロック商工会職員協議会 指導職員部会研修会（鷗風亭）

コロナ禍でステージ活動は現在できていませんが、全7回ステージ中2ステージは弊社が公募申請したステージですが、5ステージは主催者からの依頼により行ったものです。今後はこのステージを重ねることで、共に生きることへの啓発運動になり、生きがい活動の一つになるのではないかと考え継続を考えています。